みたかハンディキャブ交流誌

あ　お　ぞ　ら

【第１１４号】　平成２５年　新春号

発行日　２０１３年１月２５日

協力：朗読ボランティア　≪ういろうの会≫

新年のご挨拶　　理事長　勝間田　俊介

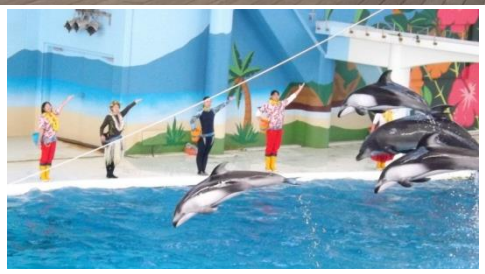
新年明けましておめでとうございます。

　利用会員の皆様、三鷹市、三鷹市社会福祉協議会、
禅林寺様を始めとする関係者の皆様には、昨年も大変お世話になり厚く御礼申し上げます。
　今年、みたかハンディキャブは創立３５年目を迎えます。
これまで関係各位の多大なご理解とご支援を賜り、ボランティア諸氏の努力により、利用される皆様に安心・安全な運行による外出支援活動を継続してくることができました。
更に昨年から、①ご利用頂きやすくする　②新しい企画による外出機会を多くする　といった取り組みを行ってまいりました。お蔭さまで新たな利用会員を多数お迎えし、かつ運行件数も一昨年を越える状況にあります。３月末までに当年度活動実績や『会員の皆様からの声』を頂き、当年度の活動評価を行います。これらの評価を基に来年度計画や中期的展望を作成し、４月の総会でご紹介いたします。
今後の見通しは必ずしも平易なものではなく、財政的な運営基盤を強化すること、活動を支えるボランティアや利用希望者の更なる拡大等が必要と考えています。
　また、平成２６年、現事務所のあるボランティアセンター建替えという市事業に呼応した事務所移転等の難題も控えております。
ここに関係各位の一層のご理解とご支援をお願い申し上げる次第です。
私共キャブのスタッフ一同は、『真心と笑顔で走る「あおぞら号」』をスローガンに、
これからも三鷹市の「交通による福祉の実現」に寄与していく所存です。

みたかハンディキャブ・スローガン

真心と笑顔で走る「あおぞら号」

日帰り交流会「八景島」レポート



さる１１月３日、快晴に恵まれた秋の一日、日帰り交流会のバスの旅が行われました。
目指すは横浜にあるシーパラダイス八景島でした。総勢４５名の参加で楽しく挙行できました。
市役所を出発したバスは一路八景島へ！渋滞もなく、予定通りに到着。早速、見学をスタート。
まずは屋外にある、ふれあいラグーンへ。　ここにはいくつかプールがあり、クジラなどが泳いでいて、
背中などに触ることができるのでどなたか触った方もいらっしゃったのではないでしょうか？
次はお待ちかねのバイキングの昼食です。青空と海が見えるレストランでより取り見取り、
お好みの料理とフリードリンクでおなかを満たして、次のポイントへ GO!
途中にあったフラミンゴやペリカン池では給餌の体験をされた方もいて楽しそうでした。
ドルフィンファンタジーでは下から見上げるトンネル型の水槽にイルカやエイたちが我々を歓迎。
そして次は一番の見どころ、アクアミュージアムです。４階建ての施設に様々な魚たちが鑑賞できます。
熱帯魚のような美しい魚たち。圧巻はどちらが前か後かわからないようなマンボウ。
１０ｍはあろうと思われる巨大魚のジンベイザメなどがのんびり、悠々と泳いでいることでした。
最後のメーンイベントはアクアスタジアムでの海の動物たちのショーでした。大きなプールでの
イルカやアザラシたちの動物離れした？愛嬌いっぱいの演技に時の立つのを忘れて見入っていました。
ゆったりした時間もとれたので、買い物や海を眺めたりして、ゆっくり過ごすことができたことと
思います。　　みんなが揃ったところで青い海と空をバックに記念の写真をパチリ！
楽しい時間は束の間に過ぎ、バスで帰路につきました。バスの中ではＫさんのきれいな声のリードの
もとに、車中いっぱいに歌声が響きました。みんなの心が一つになったようでした。
こうしてバス旅行は幕を閉じ事故や怪我もなく無事終了できましたこと、皆様に感謝申し上げます。
お土産いっぱい、思い出いっぱいの日帰り交流会になったのではないでしょうか。
次回もぜひ皆さんご一緒いたしましょう。　（坂本）

◆利用会員の皆様へ◆
みたかハンディキャブの利用を希望される方をご紹介下さい。

☆　障がい者・高齢者で移動にお困りの方
☆　電車やバスのご利用がお一人では難しい方
☆　透析患者で常時通院なさる方
☆　目的地まで単独歩行の困難な方

「ちょこ旅」紀行

「隅田川クルーズと東京スカイツリー眺望」に参加して　　篠崎建治・節子　ご夫妻

　秋晴れの一日、私と夫は、ハンディキャブの会員になってから初めて「ちょこ旅」に参加しました。
８時過ぎに市役所を出発。車内で自己紹介をしながら一路「日の出桟橋へ」。
ワー！　海？（河？）が見えました。水上バスには優先乗船ができて、心地よい川風に吹かれながら、
次々と色も形も違う橋の下をくぐり抜けました。夫もデジカメで変わりゆく景色を撮影しています。
「浅草」で下船。待って下さったキャブの車で「浅草ビューホテル」の２６階レストランへ。
ここでも目の前にスカイツリーの見える素晴らしい席へ真っ先に案内されました。
美味しいバイキング料理でお腹いっぱい。夫は何と昼からビールを飲んで「うまかった！」そうです。
スカイツリーでは４階のテラスまで上がることが出来、その大きさ、高さに改めて圧倒されました。
「そらまち」を通って駐車場へ。
帰りも自宅マンションまで送って頂き、エレベーターを降りれば・・・ついさっき行ってきたばかりの
スカイツリーがぼんやりと見えるのでした。
　退院後、初めての夫婦での遠出は、ハンディキャブの細やかな心遣いで走り回る塩沢さん、
大きな声でユーモアーのあるお話をされる坂本さん、笑顔の素敵な勝間田節子さんとご一緒した会員の
皆様のお蔭で、楽しい嬉しい「ちょこ旅」となりました。
感謝の気持ちでいっぱいです。　ありがとうございました。

お知らせ

買い物ツアーを昨年１１月より実施しておりますが、今年も引き続き催行いたします。
催行日は、原則として毎月第２・第４の土曜日　午前の部と午後の部　一日２回実施します。
買い物する店は、イトーヨーカ堂・武蔵境店で、日用品、住宅用品、衣料、食料品等なんでもあります。
西館には、ユニクロやレストランもあります。ぜひ、お買い物をゆっくりお楽しみ下さい。
自宅からの送迎と必要であればドライバーが介助および買い物のお手伝いを致します。
申し込みは、前の週の土曜日までにお願いします。

平成２５年一泊交流会について
　今年の交流会は５月１８日（土）・１９日（日）を予定しています。　富士五湖方面を考えています。
宿泊地は、「西湖レイクサイドホテル」です。富士５合目へのドライブを始め、見どころ満載の景勝地を
巡る企画を検討中です。詳しいご案内は、３月中にお手元へお届け致します。ご期待下さい。

平成２５年　通常総会を４月２１日（日）に福祉会館３階にて１０時より開催いたします。
参加者は、正会員および来賓で、平成２４年度活動および会計報告。
平成２５年度活動計画案および会計予算案が審議されます。
当日、午後１時より利用者さまを交えた懇親会を開催しますので、お誘い合わせのうえご参加ください。

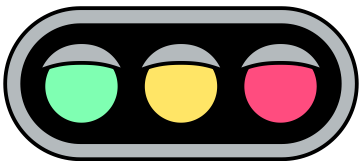
運転ボランティア紹介

平（たいら）　智享（ともたか）さん

「新人」です。よろしくお願いします。
昨年１０月、市報で、みたかハンディキャブを知り、早速事務所に連絡し、
この活動に参加させていただくことになりました。
学生時代には、ハンセン病療養所、重度心身障がい児施設などでのボランティア活動、
半世紀近く前の新潟地震の救援ボランティアなどの活動をしていました。
にもかかわらず、社会人時代には、仕事一筋で過ごしてしまいました。
リタイア後、3 年あまりの間、東日本大震災の被災地気仙沼での救援活動を除いては
山歩きや旅行に時間を費やしていました。
この度、みたかハンディキャブに出会い、再び意義ある社会活動に参加できる機会を与えられ、
たいへんありがたいことだと思います。
敗戦の年の 2 月に生まれ、まもなく 68 歳にもなろうという古「新人」ですが、利用者の方々や
ハンディキャブの維持発展のため、少しでも、お役に立てることができたら、幸いです。
微力ですが、利用会員、ボランティアの皆さまには、ご指導、ご鞭撻をいただきながら、
活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

交通安全講習会開催

　昨年１１月２５日（日）の月例会に先がけて交通安全講習会を開催しました。参加者２７名でした。
今回は、三鷹警察署の美人婦警　早川女史が来所されて約１時間余りの講演がありました。
ＤＶＤ投影による「ドライブレコーダーは見た！」を視聴して各道路、交差点、踏切、薄暮時、
雪道等における実際の事故映像および事故を未然に防ぐ危険予測の運転を学びました。
また、三鷹市内での交通事故例６件の紹介と解説を頂きました。
私たちは、日頃安全で丁寧な運転を心掛けておりますが、改めて危険予測の大切さを再認識しました。
例年とは異なる美人婦警の登壇に、とりわけ男性ボランティアは、色めき立ち相好を崩して
話の内容を十分に理解して自分のものとすることができたのか一抹の不安が残りました。
また来年もお願いしたいものです。早川さん！ありがとうございました。



トピックス

横河電機株式会社より高額寄付金受領

　昨年１２月に武蔵野市に拠点をおく、精密機器製造の横河電機より１５０万円の高額寄付金を頂きました。
横河電機は、各種制御精密機器製造の企業活動の他、広く障害者支援の活動を推進している優良企業であります。
今回、運転ボランティアのメンバーである坂東日出彦氏の尽力により実現したものです。
寄付金のお願いと使途目的は、安全運転のサポート機器搭載の必要性に、ご理解を頂いたもので、
ハンディキャブ福祉車両に殆んど整備されていない「カーナビゲーション」・「バックモニター」等の
安全運転補助機器に重点をおいて、順次、設備投資を進める計画をしております。
今後、更なる安全で正確かつ快適な運行に寄与するものと考えて、ご厚意の横河電機に感謝しつつ
日常の移送サービス向上を図ってまいります。

事務所待機要員の配備

　今年１月より運行サービスの一環として状況に応じた待機要員を事務所に配備致します。
病院等の送迎の際、帰りの時間が不特定で予約時間設定が難しい利用者さまへの対応策です。
あらかじめ暫定的予約時間を設定頂き、帰りの時間が確定した時点で事務所に連絡を頂くと
事務所に待機していたドライバーが、お迎えにあがるシステムです。
ただし、お迎えの場所が遠距離で対応できないケースもございますので
予約の際、ご相談をお願いします。是非ご利用頂ければ幸いです。

今後の予定

１月２６日（土）　ボランティアセンター新春交流会
２月　２日・３日（土・日）福祉有償運転者講習会開催
　　２３日・２４日（土・日）　ボランティア研修会（強羅）
４月２１日（日）　通常総会・懇親会（福祉会館）
５月１８日・１９日（土・日）　一泊交流会「富士五湖周辺」
「ちょこ旅」企画　検討中

ハンディジョーク二題

レストラン　①

客　：　「ウェイター！　これはコーヒーなのか？それとも泥水なのか？
いったいどっちなんだ！」

ウェイター　：「どちらかお分かりになりませんか？」

客　：　「ああ！分からないね！」

ウェイター　：「だったら　いいではないですか！」

レストラン　②

客　：　「ウェイター！　このハエはスープの中で何をしとるのかね？」

ウェイター：　「背泳ぎのようですね！」

きみまろ

編集後記

平成２５年新春号をお送りします。
この交流誌は、ハンディキャブの活動を通じて、
年４回発行する相互交流の場です。
新しい年を迎えました。今年もよろしくお願いします。
今年の干支は「巳」成長するために何度も脱皮をします。
ハンディキャブも取り巻く環境は厳しいものがあります。
伝統や良き慣行は継続しつつも改善すべき事には積極的
に取り組み、法人としての体質強化を図り、進化します。
皆様とともに充実した活動をめざして参ります。

発　　行

ＮＰＯ法人**みたかハンディキャブ**

〒181-0012　三鷹市上連雀８－３－１０
みたかボランティアセンター２階

ＴＥＬ　０４２２－４１－０１８５
ＦＡＸ　０４２２－４１－０２７４

E-mail :m-cab@parkcity.ne.jp
ホームページ ： みたかハンディキャブ

名刺・はがき・封筒・
チラシ等の印刷
（データ持込可）
印章・各種ゴム印
ラミネート加工等
全てがスピード対応!!
とにかく便利なお店です。
是非一度ご来店ください。
http://seibundo-n.com

文具・事務用品
誠文堂

TEL：042－422－9447
西東京市谷戸町2-9-3